

利用予定団体によるワークショップの開催について

1 ワークショップ開催目的

新たな遠軽町のシンボルとなる「遠軽町芸術文化交流プラザ」の建設に伴い、大ホールやリハーサル室などの諸室で使用する設備・備品をより機能的なものとするための検討を行うとともに、愛着を持って未永く使用していくための方策を検討するため、ワークショップを開催する。

また、ワークショップの開催により、関係団体間における連携を深めるとともに、開館に向けた意識の高揚を図る。

2 参集予定団体 資料1・2のとおり（41団体）

3 開催時期 2019年6月頃 午後6時～8時

4 ワークショップの流れ

(1) 施設説明（10分）

- ・ 建設スケジュール（H31.6 着工→H33.2 完成→H33.4 備品搬入→H33.7 頃開館）
- ・ 検討協議会による検討経過
- ・ 図面（配置図、平面図、立面図、諸室、イメージパースなど）
- ・ 建設事業費

(2) ワークショップの説明（10分）

- ・ 趣旨説明
- ・ 検討事項の確認
- ・ グループ分け（1グループ4～8人）
- ・ ファシリテーター（事業部会委員）の紹介

(3) ラウンド開始（概ね60分）

- ・ ファシリテーター進行

ファシリテーターの役割

- ①リラックスできる場をつくる。
- ②発言の機会を増やす。
- ③意見を否定しない。

- ・ メンバー自己紹介
- ・ 検討

検討事項案

- ①各団体が通常活動を行う曜日、時間帯、人数は。
- ②各団体が大会等を行う場合の時期、時間帯、人数、使用する諸室は。
- ③各団体が通常活動や大会等を行うために必要な備品設備は。
- ④ホワイエやトイレなどの共有スペースの機能として、気になる点はないか。
- ⑤その他利用に当たっての留意事項

(4) まとめ（20分）

- ・ 各グループの検討内容を発表し、全体で共有する。
- ・ その場で整理できるものや検討を要するものを抽出する。
- ・ アドバイザーによる講評

ワークショップ配置・グループ分け（案）

○グループ分けの考え方

- ・資料1の利用想定により、同室を利用する団体でグループを構成する。
- ・室利用団体が少数の場合は同階の隣接した室と同グループとする。
- ・一団体が複数の室を利用することが見込まれる場合は、主に利用が想定される室とする。
- ・利用の想定が難しい団体は、同様の活動を行う団体と同グループとする。

○グループ案

<p>【グループA】 リズムダンスレディース リズムダンス満愛 遠軽グリーンフォークダンスサークル 遠軽ジャズダンスサークル ダンス教室 a m i : φ 遠軽町消費者協会 遠軽手打ち蕎麦同好会</p>	<p>【グループB】 フラスタジオ・UEDA 遠軽がんばろう太鼓同好会 遠軽青少年吹奏楽団 遠軽高校吹奏楽局</p>
<p>【グループC】 遠軽刺しゅう教室 遠軽町書道連盟 川柳研究会 丸瀬布歌謡愛好会 向日葵短歌会 生田原短歌会 遠軽町生田原俳句同好会</p>	<p>【グループD】 遠軽混声合唱団 琴城流大正琴遠軽響の会 遠軽三曲協会 静雲国暁流詩吟々舞総本部 聖月流日本吟剣詩舞道会遠軽支部 民謡好友会 遠軽三絃会</p>
<p>【グループE】 趣味の部屋 遠軽町社会福祉協議会 絵手紙同好会 遠軽写真同好会 生田原生花サークル 北見友の会遠軽最寄 安国カメラ同好会 はらすぼ</p>	<p>【グループF】 せせらぎヨガ 遠軽町茶道連盟 遠軽華道連盟 表千家 千葉社中 畑山手描型染友禅同好会 畑山きもの着付教室 華の会 若柳臣流遠軽若寿会</p>

○用意するもの

- ・テーブルセッティング
模造紙2枚、各階平面図、カラーペン、筆記用具、付箋用紙、名札、飲み物
- ・説明用機材
プロジェクター、スクリーン、PC、延長コード